

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成19年10月

(平成19年9月末調査)

平成19年10月15日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【8月】	諏訪公共職業安定所管内	1.43倍	+0.21ポイント	
	岡谷公共職業安定所管内	1.75倍	+0.27ポイント	
手形交換高【9月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	8,789枚	△1,170枚	
	金 額	9,979百万円	△812百万円	
	うち不渡り発生状況	枚 数	10枚	+8枚
		金 額	4百万円	+3百万円
車庫証明取扱件数【9月】(諏訪・岡谷自動車協会管内)		1,137件	△17.8%	
新設住宅着工件数【19年4月～8月】(諏訪所管内)		709戸	△310戸	

地域の概況

●製造業

自動車部品は、高水準の生産を続けている企業がみられるなど総体では堅調な受注状況であるが、発注単価の引き下げが続いている。工作機械は、自動車部品加工機などで順調な生産が続いているが、汎用機械の受注は弱含みとなっている。搬送機器や半導体関連設備などの受注は依然として弱含みとなっているが、昨秋より動きが弱かった液晶関連設備の受注に幾分動きがみられる。医療機器、デジタル一眼レフカメラ鏡枠などの受注は高水準で安定しているが、電気機器や携帯電話部品などの受注状況は企業により区々となっている。

地域製造業は、自動車部品、デジタル一眼レフカメラ関連企業や一般機械加工などの企業に順調な生産を続ける企業があるが、総体では昨秋水準までには達していない模様である。

素材価格の高騰などから小規模企業の収益性に回復がみられない中、一部ではあるが発注単価が見直されたところもある。

地域製造業の業況は、一部の業種に今後の期待感がでてきているものの、当面は弱含みとなっている。

●商業

諏訪地方の9月の天候は、記録の高温、多照となり、なかでも平均気温は1945年の統計開始以来1位となるなど、商業全般に厳しい残暑の影響があった。

暑い日が続いたために、秋物衣料品の出足は遅く、食料品も例年は動き始める鍋物食材等の売れ行きは低調であった。

一方、運動会にあわせデジカメやビデオカメラは売れ行きを伸ばし、健康志向からウォーキングシューズの動きは好調である。

●観光業

長野県観光部がまとめた「平成19年度夏季の観光動向（10月5日発表）」によると、7月から8月に上諏訪温泉・諏訪湖（諏訪市）を訪れた観光客は220万人で、豪雨災害で減少した昨年と比べ、NHK大河ドラマ「風林火山」に関連した「諏訪湖由布姫まつり」の開催や、花火イベントの定着から前年比24.3%の大幅増となった。一方、梅雨明けが遅れたことから、白樺湖（茅野市）の入込み客は38万人で前年比5.9%の減少となった。

9月の上諏訪温泉は、新作花火競技大会により満館のところが多くなり、月間の宿泊者数も対前年比で10%程度増加しているところが多い。

蓼科・白樺湖・車山方面は、天候に恵まれ入込み客は堅調だったものの、宿泊客数は総体では幾分前年を割り込んだ模様である。

諏訪大社（上社・下社）の9月の参拝客数は70千人で、前年同月比17千人の増加となっている。団体観光バスでの参拝が主体であるが、週末には個人客の参拝も目立っている。

●建設業

市町村の9月の発注工事は、建築工事6件49百万円、土木工事・下水道工事79件564百万円、その他工事9件30百万円の合計94件643百万円で、前年同月比では111百万円の増加となっている。

9月に地元業者が受注した県関係の公共工事は38件912百万円で、平成19年4月～9月の累計契約額は4,053百万円と前年同期累計比では2,533百万円の増加となっている。

民間工事は、諏訪地方の8月の新設住宅着工件数は70戸で前年同月比69戸減少した。

●雇用

8月の有効求人倍率は、諏訪公共職業安定所1.43倍、岡谷公共職業安定所1.75倍で、諏訪地域の有効求人倍率は1.54倍と全国（1.06倍）及び長野県（1.17倍）を上回っている。

諏訪職安と岡谷職安を合わせた8月の新規求人（全数）は1,355人で前月比288人減少、前年同月比31人（2.3%）増加となっているが、新規求職者数は前年同月比56人（△7.6%）の減少となっている。

諏訪地域の有効求人倍率は、平成15年10月以降47ヶ月連続して1倍を上回っている。

業界別動向

1. 電気機械

プリント基板	受注状況は企業により区々であるが、幾分弱含みの状況である。
コンデンサー	自動車用コンデンサーの受注は増加傾向である。
プリンター	大型プリンターの生産は堅調に推移しているが、アッセンブリーや部品加工などの下請企業の受注は減少傾向となっている。
コンダクター・リレー	受注は安定しており堅調となっている。

2. 輸送用機械

自動車	自動車部品関連企業の受注は総体では安定しているが、発注単価は依然厳しくコスト削減が求められている。
ピストンリング・シリンダーライナー	メーカーは順調な生産を続けており、海外工場の立ち上がりを前に下請企業の受注は高水準となっている。
船外機	下請企業の受注は高水準で安定しており、今後の見通しも明るい。

3. 一般機械

工作機械	自動車関連の加工機は引続き堅調な生産を続けているが、汎用機械の動きは弱く総体の受注は幾分弱含みとなっている。
専用機・省力機器	企業により受注状況は増加、減少区々となっており、横這いの状況となっている。
搬送用機械	ハイテク関連はメーカーに一服感がみられ幾分弱含みとなっていたが、在庫調整が終わりつつあり今後の増加が見込まれる。
金型	医療機器や自動車関連の受注は堅調で一部では受注引き合いが増えてきているが、電機関係の受注が減少したままのところもあり、総体では幾分弱含みの状況となっている。
アルミダイキャスト	一部に高水準の受注状況の企業がみられるが、減少したまま横ばいとする企業も多く、総じては弱含みとなっている。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルカメラの8月の生産台数は857万台で、前月比19.1%増加、前年同月比28.8%増加となっている。8月の出荷台数は国内出荷86万台、海外出荷737万台で、出荷台数全体では前月比13.1%増加、前年同月比25.3%増加となっている。(カメラ映像機器工業会) 下請企業の受注は親会社により区々であるが、デジタル一眼レフ関連で繁忙のところが見られる。
---------	--

プロジェクター
レンズ
海外生産が主体となっており、下請企業の受注は減少している。
ガラスレンズの生産拠点は海外が主体となっており、国内の生産規模は減少している。

5. 織 維

ニット
残暑の影響により小売段階での秋物のスタートが遅れている。

6. 食 品

寒天
ブーム時には及ばないものの出荷は安定している。季節的な変動はあるものの、年間を通して荷動きは良くなっている。

味噌
出荷は平年並みとなっている。

7. 製 材

諏訪地方の8月の木造住宅着工件数は52戸で、前年同月比50戸減少した。6月の建築基準法の改正に伴う建築確認申請事務の長期化の影響のほか、マンション志向の高まりにより戸建住宅の新設は幾分弱含みとなっている。

木材の動きが弱いなか、角材や材木の価格も幾分値下がり傾向となっている。

8. 建 設

公共工事
9月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、発注機関別に諏訪建設事務所19件、林道治山工事関係9件、その他10件の合計38件、契約金額912百万円となっている。平成19年4月～9月の累計契約額は4,053百万円と前年同期累計比では2,533百万円の増加となっている。市町村の9月の発注工事は、建築工事6件49百万円、土木工事・下水道工事79件564百万円、その他工事9件30百万円の合計94件643百万円で、前年同月比では111百万円の増加となっている。

民間工事
諏訪地方の8月の新設住宅着工件数は70戸で、前年同期比69戸減少した。価格競争が厳しく受注単価が下落傾向である中で、6月の建築基準法の改正に伴う建築確認申請事務の長期化の影響も懸念される。

9. 商 業

諏訪地方の9月の天候は、記録的高温、多照となり、なかでも平均気温は1945年の統計開始以来1位となった。このため、秋物衣料品の出足は鈍く、食料品も鍋物食材の動きが弱いなど、商業全般に残暑の影響がみられた。

衣料 残暑のため、秋物衣料品の出足が遅くなっており、売上げは前年を下回ったところが多い。

食料品 高温の影響から、例年は動き始める鍋物食材の動きが鈍く、品揃えや売り場づくりに苦慮している店舗がみられる。季節の果物の売れ行きは順調である。

家電製品 運動会にあわせデジカメやビデオカメラに動きがみられた。引続き、薄型TVの売れ行きは好調である。

自動車 諏訪・岡谷を合わせた9月の車庫証明件数（軽自動車除く）は、1,137台で前月比176台（18.3%）の増加となっているが、前年同月比では△247台（△17.8%）となっている。また、軽自動車の販売台数は452台で前月比173台（62.0%）の増加となった。

ホームセンター 園芸用品、レジャー用品の動きが好調であったが、暖房用品の動きは弱かった。

デパート 残暑の影響はあったものの、婦人服の売れ行きは好調であった。

10. 観 光

長野県観光部がまとめた「平成19年度夏季の観光動向（10月5日発表）」によると、7月から8月に上諏訪温泉・諏訪湖（諏訪市）を訪れた観光客は220万人で、豪雨災害で減少した昨年に比べ、NHK大河ドラマ「風林火山」に関連した「諏訪湖由布姫まつり」の開催や、花火イベントの定着から前年比24.3%の大幅増となった。一方、梅雨明けが遅れたことから、白樺湖（茅野市）は38万人で前年比5.9%の減少となった。

上諏訪温泉 新作花火競技大会は全国から31万人を集め、満館のところのみられた。月間の対前年比の宿泊客数は、総体で10%程度増加している。

蓼科・白樺湖・車山 天候に恵まれ入り込み客は堅調だったものの、宿泊客数は総体では幾分前年を割り込んだ模様。学生の合宿や独自のプランで宿泊客をのばしているホテル旅館もみられる。

下諏訪温泉 宿泊客数は、ホテル旅館により区々ではあるが、総体では前年を幾分割り込んだ模様。「諏訪大社流鏑馬奉納」には、多くの観客が詰めかけ賑わいをみせた。

諏訪大社 上社・下社を合わせた9月の参拝客数は70千人で、前年同月比17千人の増加となっている。団体観光バスでの参拝が主体であるが、週末には個人客の参拝も目立っている。